

2012年度 事業計画

2012年1月1日から2012年12月31日まで

特定非営利活動法人シマフクロウ・エイド

はじめに

法人設立から5年度目は、活動の基盤となるシマフクロウの調査・パトロール、給餌などを続けて行い保護・保全活動を推進する。さらに、それらの活動で得た知識や課題を関連団体との連携も視野に入れながら、環境教育やエコツアー、人材育成など普及・啓発活動で地域や社会に還元することで、会員や寄付、情報、物資、ボランティアなどの支援の輪をさらに広げ、人とシマフクロウが共生できる社会づくりに貢献し、次世代に続く保護活動を推進する。

<各事業の概要>

I 保護・保全・支援事業

1. 給餌

1) 給餌事業

シマフクロウの繁殖を補助するために、おさかな寄付収入で活魚を購入し、専用給餌池に放流する。

2) 募金活動

活魚の必要性をわかりやすく伝え、人々の関心と理解の輪を広げ、募金活動を行う。

2. 調査・パトロール

シマフクロウの保護保全活動の適切かつ効果的な実施のために、その分布行動圏、生息・繁殖状況等に関して昨年度に引続き以下の調査を行う。

1) 生息確認調査

生息確認調査を行い、未だ知られていない繁殖地の発見に努める。

2) 繁殖個体と幼鳥の経過観察及び生息地のパトロール

繁殖及び生息が確認された地域で観察およびデータの蓄積を行い、繁殖に悪影響を及ぼす事項について注意を払う。

3) 繁殖候補地及び周辺における亜成鳥の行動調査

繁殖候補地及び周辺域における単独個体の行動調査を行う。

4) 情報提供等による生息確認調査。

生息情報等が寄せられた地域における生息確認調査を行う。

5) 募金活動

調査・パトロールの必要性をわかりやすく伝え、理解と関心の輪を広げ、募金活動を行う。

II 人材育成事業

次世代に続くシマフクロウの保護調査員の担い手をホームページ等で毎年募集し人材の発掘を行う。

保護調査員の志望者において、実践活動で育成に取り組む。

III 環境教育事業

シマフクロウをテーマとした環境教育を行い、地域住民等に普及・啓発を推進する。

IV エコツーリズム事業

会員限定でツアーを開催し、体験を通じてシマフクロウやその保護活動の現状や課題への理解と関心を推進する。

V PR 事業

シマフクロウが直面する問題やそれに向けた保護活動等について広報し、多くの人々の関心と理解を進め、活動への賛同者を増やし自主財源の確保を図り、次世代に続く保護活動の推進を目的に、以下のPR活動を行う。

1) インターネットによる PR

ホームページやブログを随時更新し、活動状況、必要な支援、募集内容等を発信し、サイト来訪者に活動への理解と関心を推進し、支援者の拡大を目指す。

2) 印刷物による PR

- ・ 会の活動やシマフクロウの関連ニュースなどを紹介する会報を会員限定で発行し、シマフクロウや保護活動への関心と理解をさらに推進する。
- ・ 入会パンフレットや各種印刷物等で、広く多くの人に活動への関心と理解を推進し、支援者のすそ野を広げる。
- ・ 地域住民向けに、会の活動等を紹介するチラシを作成・配布し、活動への理解と関心を推進する。

3) その他の PR

必要に応じて、新聞・雑誌等各媒体で随時 PR を行う。